

RUSH RCF

新設計MMCエンジン搭載



HIGH DEFINITION SOUND BY



目次

特徴.....	4
安全にお使いいただくために	5
内容物の確認をしましょう (同梱品)	7
まずは聞いてみましょう	8
充電する	8
装着する	8
再生する	8
MMC (メッシュ)通信	9
パブリックグループ	9
プライベートグループ	10
おすすめポイント	11
Bluetooth通信	11
MMC (メッシュ)通信	11
各部の名称	12
本機	12
仕様	12
電源について	13
充電	13
電源のON/OFF	13
ヘルメットへの取付	14
RCF プレミアム サウンドスピーカーを取り付ける	14
マイクを取り付ける	15
FMアンテナを取り付ける	15
クランプを取り付ける	15
マグネティックマウントを取り付ける	17
本機を取り付ける	17
操作モード	18
操作モードの切り替えかた	18



グループについて	19
パブリックグループ	20
プライベートグループ	22
グループの切り替えかた	24
エンクリプションキー (デジタルID) について	25
エンクリプションキー (デジタルID) のリセット方法	28
操作一覧表	29
RUSH RCF ゲスト	29
MIDLAND 製インカムとのペアリング	30
他社製インカムとのペアリング	32
スマートフォンやBluetoothデバイスとのペアリング	36
ペアリングのしかた	36
接続のしかた	37
キー操作	38
操作方法	40
スマートフォンの着信に応答するには	40
着信拒否	40
電話をかける	41
電話を切る	42
スマートフォン、ミュージックプレイヤーの音楽を聞く	42
FMラジオを聞く	43
FMラジオモードにする	43
FMラジオをON/OFF する	43
受信可能なFM局をサーチ	43
登録したFM局を聞く	44
FMラジオを使用しない	44
FMラジオの受信確認	45
FMラジオ聴取時のインカム通話	45
操作一覧表	46
その他の機能	47
AGC機能 (ボリュームの調整)	47
音楽をシェアする (ライダーとパッセンジャー)	47
ボイスアクティベーション	49
ソフトウェア (Firmware) のアップデート	50
BT アップデータ	50
BT PRO Set アプリ	50
BT Talk アプリ	51
ペアリング情報のリセット	51
工場出荷時の設定に戻す	52
こんなときは？	54
スペアパーツの一覧表	55

特 徴

- 新設計MMCエンジン搭載、MMCテクノロジーを用いて、10人同時通話
双方向通話 - Full Duplexにて実現
- 新機能MMCゲスト10人以上のメンバーに対し、聞くだけの機能限定で参加可能
- 新設計MMCゲスト機能 圏内であれば、無制限のゲスト設定可能
- RCF高音質HDスピーカーでハイクオリティな音質
- 周囲の雑音やスピードに応じボリュームを自動音量調整 (AGC 機能)
- 最大3台 (MIDLAND製2台、他社製1台) までインカムを登録
- Bluetooth インカム通信 最大連続 23時間使用 (1対1のインカム通話時)
- MMC通信 最大連続 12時間使用
- ユニバーサルインカム機能 (他社製インカムとの通話が可能)
- MWE ノイズキャンセル機能
- HD サウンド (MMC 通信機能)
- ミュージックシェア (ドライバーとパッセンジャー間)
- 2台待ち受け可能 * 2台同時使用はできません
- 低音の音源から広域に忠実に再現する音響システム + Hi-Fi スピーカー
- AGC 音量自動調整機能
- 2つのMMC通信モード
- ペアリング不要で10人同時通話可能な、パブリックグループ
- 人数優先 10人同時通話可能な、パブリックグループ
- 親機と同一の「カギ」を持つユーザーのみが参加可能なプライベートグループ
- 距離優先 最大6人までの通話が可能なプライベートグループ
- ワイドFMラジオ対応 (6局メモリー登録)
- インカム通話をしながらFMラジオが聞ける
- [BT PRO Set アプリ] でFM局の登録・チャンネル番号設定などの詳細設定が可能
- TELEC (無線設備の認証・試験機関) 認証済み

安全にお使いいただくために








安全かつ効果的な取り扱いが行えるように、次の見出しを使用しています。
見出しの意味を十分にご理解の上、正しくお使いください。





 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容。

■シンボルマークの意味



 このマークは禁止の行為であることをあらわします。	 このマークは指示を守ることをあらわします。
---	---

故障かな？と思ったら、【こんなときは？】(P.54参照)に該当する症状がないかご確認ください。
それでも正常に動作しないときは、販売店にご相談ください。

 警告	
 本製品はオートバイ用のインカムです。 本製品を道路上で使用する場合は、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従ってください。	
 大音量を聞きながら運転しないでください。 運転に必要な様々な音が聞き取れなくなり、重大な事故の原因となります。また、音に集中すると運転意識の低下につながります。	
 医療機器などの近くでは電源を切ってください。 Bluetoothの電波は微弱ですが、医療向け計測器、心臓ペースメーカーなどの近くでは使用を控えてください。	
 飛行機の中では使用しないでください。 電波が影響を及ぼし、事故の原因になる恐れがあります。	
 本製品を分解・改造しないでください。 感電や火災、やけどの原因になります。	
 本製品の内部に金属物、水などの液体、燃えやすい物質、薬品などを入れないでください。 回路がショートして火災の原因になります。	

 注意	
 本製品から異臭や音がしたら、ただちに使用を中止してください。 そのまま使用し続けると、ショートして火災の原因になるおそれがあります。	
 高温多湿になる場所での充電、放置は避けてください。 発熱、破裂、発火、感電、本機の変形、故障の原因となるおそれがあります。	
 長時間水がかかる場所で使用 / 保管または水没させないでください。また、本機が濡れた状態や濡れた手でマイクパーツや接続パーツの脱着をしないでください。本機内部に水が入った場合、出来るだけ早く電源を切り、よく乾燥させてください。 発熱、破裂、ショート、発火、感電、故障の原因となります。	





注意

-  **本機に無理な力をかけないでください。**
無理に力をかけると破損や故障の原因になります。
-  **本製品を廃棄する場合は、各自治体の条例に従ってください。**
内容については各自治体にお問い合わせください。

マグネティックマウント(マグネット式)について

マグネティックマウント(マグネット式)には、強力な永久磁石を使用しています。取扱いにはご注意ください。


警告

-  **磁石から安全な距離を保ってください**
ペースメーカー、植込み型除細動器、他のプロテーゼ、または他のデバイス機器の動作に影響を与える可能性があります。
-  **磁気カード等への影響**
クレジットカード、ATMカード、SIMカード、一般的な磁気カード、コンピューターメディア、ストレージデバイス、補聴器、スピーカー、機械式時計、コンパス、ラジオ、リモコンなどの機器は遠ざけてください。
-  **強力な引力があります**
不用意に取り扱うと磁石との間に指や皮膚が挟まれ、けがを負う可能性があります。
-  **腐食から保護するために薄いコーティングが施されています**
衝突や強い圧力により、コーティングにひびが入ったり損傷したりする可能性があります。
また、雨や湿気などに直接さらされると磁石が錆びる可能性があります。

リチウムイオン電池について

本機にはリチウムイオン電池を内蔵しています。

注意

-  **リチウムイオン電池は外部からの衝撃で内部ショートが発生する場合があります。**
本機を落としたり、ぶつけたりしないよう、十分にご注意ください。

内容物の確認をしましょう(同梱品)



本機



RCF プレミアム サウンドスピーカー (2個)
※面ファスナー付き



フルフェイス用ワイヤーマイク
※面ファスナー付き



スピーカー用スペーサー (2個)



ジェットヘルメット用ブームマイク
※面ファスナー付き



マグネティックマウント
(マグネット式)



低音用BASSクッション
(2個)



取付クランプ
(粘着タイプ)



取付クランプ
(クリップタイプ)



USB充電ケーブル
(Type-C)



スペーサーゴム
(2種)

※上記はシングルパックの同梱品です。ツインパックには各2セットずつ同梱されています。
※仕様は予告なく変更となる場合があります。

まずは聞いてみましょう

本機は、バイク用無線通信機器として、複数のライダーと会話や高音質スピーカーにて音楽を再生できます。

充電する (P.13参照)

本機を充電する。

付属のUSB充電ケーブルでパソコンまたは、USB充電器(別売)で充電します。本機の赤いランプが点滅します。(満充電：約2時間)

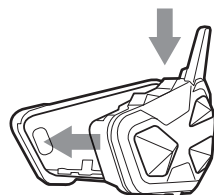
装着する (P.17参照)

1. 本機とマグネティックマウントを装着する。

本機を45°傾けてマグネティックマウントに端子側を挿入し、もう一方を近づけます。

※強力な磁石で安全に固定されます。

2. マグネティックマウントとスピーカーを接続する。



注意

- マグネティックマウントに本機が完全に固定されていないと、脱落する恐れがあり危険です。装着は完全に行ってください。
- 強力な磁石で固定しますので、装着時に指の挟み込みに注意してください。

再生する (P.46参照)

■ スマートフォンの場合

1. コントロールボタンを7秒押す。

赤いランプが点灯します。

2. ⊕ボタンを3秒押す。

赤色青色LEDの早い交互点滅になります。

3. スマートフォンのBluetooth設定をONにし、「Midland RUSH RCF」を選択する。

※PINコードを要求された場合は(0000)を入力します。

4. 音楽を再生してみましょう。

■ FMラジオの場合

※右図のようにFMアンテナをしっかりと張った状態でお試ください。

1. 電源を入れ、コントロールボタンを3秒押す。

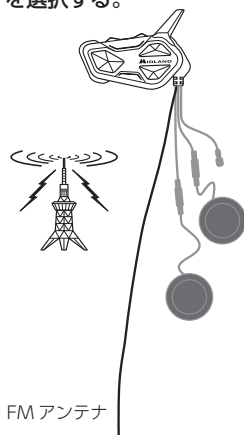
FMラジオモードに切り替わります。

2. コントロールボタンを押す。

ラジオのON-OFFです。

3. アップボタン(サーチアップ)、ダウンボタン(サーチダウン)を押して選局する。

4. FMラジオを聞いてみましょう。



MMC(メッシュ)通信

- 本機は、複数のRUSH RCFの相手と同時に会話を行うミッドランド独自の新規開発「MMC」エンジンの通信方式を採用した商品です。



※ 1対1の個別Bluetoothインカム通信と異なり、1対複数の通信ネットワークより、網の目状の通信網となることからメッシュネットワークと総称されます。

- 10人同時に双方向通話が可能です。(パブリックグループ)
個々のRUSH RCFに、割り振られた1番から10番までのチャンネル番号をユーザーが選択して通信を行います。
- MMC通信には、パブリックグループ、プライベートグループの2種類のグループがあります。お客様の通話スタイルに合ったグループを選択してください。
※ 工場出荷時は、パブリックグループです。

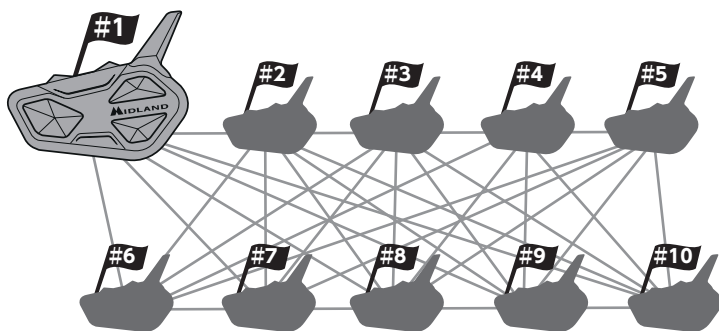
パブリックグループ

より多くの人と話したい人数優先モード(10人同時通話が可能)

ユーザーによるペアリングの作業が必要ありません。

RUSH RCFユーザーが、チャンネル番号を選択、MMC通信すれば会話が可能です。

※ 工場出荷時は、パブリックグループです。



どちらのグループも、音質に違いはありません。

また、ゲストユーザーの追加やMMC通信を行いながらナビ・音楽などを聞くことができます。

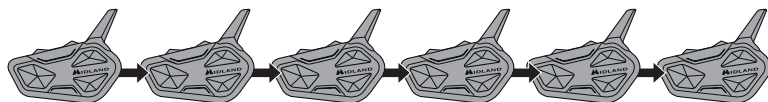
プライベートグループ

距離優先モード(6人で使用)

ユーザーによるペアリングの作業がありません。

(より秘話性を高めたエンクリプションキーの登録にはペアリング作業が必要です。)

全員が親機となり無線通信を拡散する方式です。(パブリックグループとの兼用はできません。)



※工場出荷時は、パブリックグループです。

	パブリックグループ	プライベートグループ
同時通信	最大10人	最大6人
エンクリプション機能	×	○
ゲストモード	○	○
⊕ボタン登録デバイス ステレオブレンド	○	○
バックグラウンド ワイドFM	○	○
最大使用人数	10人まで	6人まで

※同じグループ内で同じチャンネル番号を設定できません。

※パブリックグループでは11人目以降、プライベートグループで7人目以降はゲスト参加が可能です。ゲストは10人(6人)の会話を聞けますが、話すことはできません。

おすすめポイント

Bluetooth通信

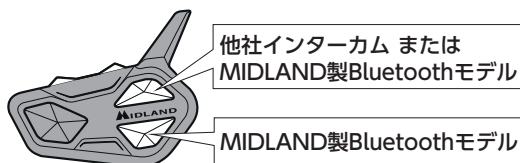
- ◆Bluetooth インカム通信が可能
(MIDLAND 製インカム [2 台登録可・2 台の同時使用はできません。]、他社製インカム 1 台)
- ◆スマートフォンを接続して電話に応答可能 (2 台登録可)
- ◆RCF スピーカーで音楽を楽しむ
- ◆ワイド FM 対応ラジオを聞く

MMC (メッシュ) 通信

- ◆同時に 10 人で会話することができます
- ◆ペアリング不要で通信可能
- ◆グループの離脱、合流の際にペアリングの組み直しが不要
- ◆ブリッジ機能で MIDLAND 製や他社製モデルも MMC 通信に参加可能
(ブリッジ機能での Bluetooth 接続は、有効距離約 10 m です。)
- ◆ゲストモード台数無制限

■MIDLAND 製の Bluetooth モデルや他社製インカムを登録可能

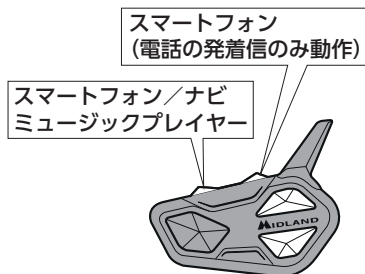
ダウンボタンまたはアップボタンに登録できます。



■2 台のスマートフォンを登録可能

⊕ボタンに登録すると、アプリなどの音声を聞くことができます。(ステレオ音声)
MMC 通信時にバックグラウンドで音声を聞くことが可能です。

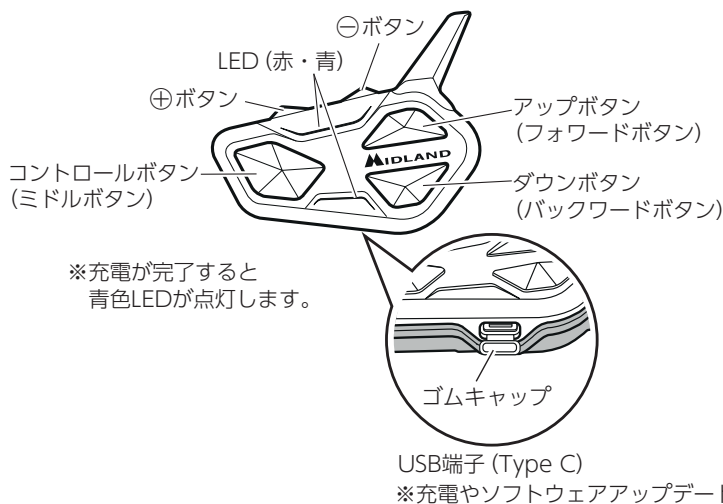
⊖ボタンに登録すると、モノラルの Bluetooth 機器及び電話の発着信のみ動作します。(モノラル音声)



各部の名称

本機

使用する前に本機を充電してください。(P.13参照)



注意

- USB端子のゴムキャップが、しっかりと閉まっていることを確認してください。雨に濡れると、内部に水が入り故障の原因になります。濡れた場合は、本機をマグネティックマウントから外しゴムキャップを開けてよく乾燥してください。

仕様

Bluetooth : Ver.5.0 (HFP, HSP, A2DP, AVRCP)

最大通話距離 : 最大 3.5km (MMC通信 プライベートグループ 6人使用時)

※妨害電波が無く、相手が見渡せる環境下

防水対応 : IPX6 相当

周波数 : 2.4Ghz 帯域 (最大出力 100mW)

システム : デュアルコアチップセット

充電式リチウム電池 : 最大連続使用 [23h] (1対1のBluetoothインカム通話時)

充電時間 : 最大 2h

MMC通信 : 最大連続使用 [12h]

電源について

充電

※パソコンまたは別途USB充電器をご用意ください。

1. USBポートのゴムキャップを開けて、付属のUSB充電ケーブルで充電器と接続する。

※USB充電ケーブルを接続すると、電源が自動的にOFFになります。
充電中に使用するには、再度電源をONにしてください。

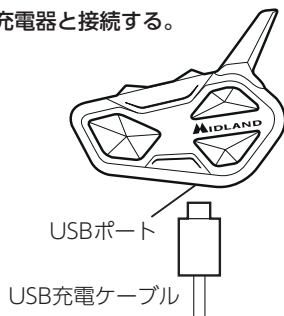
2. 充電器をコンセントに差し込んで、充電を開始する。

※充電が開始されると赤色LEDが点滅します。
※充電が完了するとLEDが消灯します。
※充電時間は約2時間です。ご購入時は約3時間かかる場合があります。

3. 本機からUSB充電ケーブルを外す。

4. ゴムキャップを閉める。

※ゴムキャップは、必ず閉めてください。USB端子に雨などが入り故障の原因になります。



注意

- 充電は、必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用ください。他のケーブルでは充電できない場合があります。
- 本製品は、[USB Type-A to Type-C] ケーブルによる充電を想定しています。市販の [Type-C to Type-C] ケーブルの全ての信号をサポートしている構造ではありません。

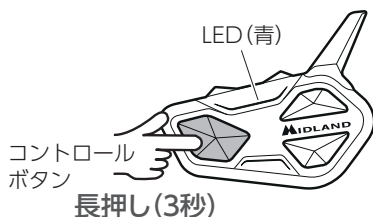
電源のON/OFF

■ 電源を入れる

電源OFFの状態からコントロールボタンを青色LEDが

1回点灯するまで3秒押す。

※電源がONになると青色LEDがゆっくりと点滅します。



注意

長押し続けると登録モードになり、赤い点灯となります。その場合、再度電源OFFからやり直してください。

■ 電源を切る

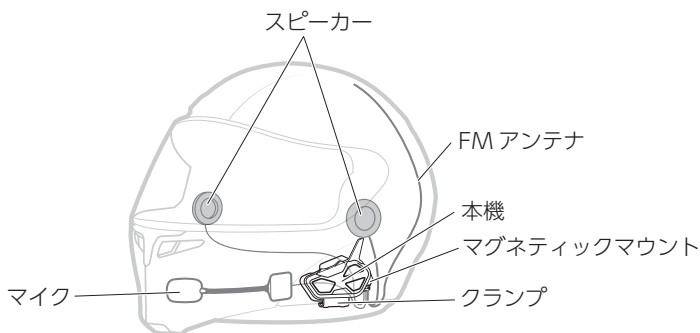
赤色LEDが3回点滅するまで、コントロールボタンとダウンボタンを同時に押す。

赤色LEDが点滅し電源が切れます。



ヘルメットへの取付

スピーカーは、取り付ける位置で音の聞こえ方に大きく影響します。一部のヘルメットにはスピーカー用のスペースを、あらかじめ設けてある物がありますが、最適な場所に配置されているとは限りません。必ずスピーカーを正しく取り付けてください。また、必要に応じて付属のスペーサーを使用してください。



ヘルメット左側へ取付イメージ

RCF プレミアム サウンドスピーカーを取り付ける

ヘルメット内部の耳に当たる部分に、面ファスナーでスピーカーを取り付けます。必要に応じて付属の両面テープをご使用ください。



最高の音の明瞭さを得るには、スピーカーを耳の中心に合わせて配置してください。

注意

- 取り付ける前に左右のスピーカーから音が出ていることを確認してください。
- 運転中に周囲の交通状況を聞けるよう、両耳を完全にふさがないように取り付けてください。

■低音用BASSクッション

イヤークッションを使用して、エクストラBASSサウンドをお楽しみいただけます。

※イヤークッションを装着されない場合でも、RCFサウンドを体感できます。

※ご使用のヘルメットによっては、取付スペースにうまく合わない場合があります。



マイクを取り付ける

マイクは2種類付属しています。ヘルメットタイプに適したマイクを装着してください。

■ジェットヘルメット用ブームマイク

オープンフェースタイプ、フロントフリップタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクの根元に付いている両面テープと面ファスナーテープで取り付けます。

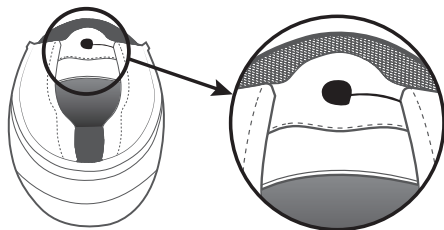
- 指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前に来るように取り付けてください。風切りのノイズキャンセル機能を有効に活用できます。
- 白色のマークが口側に向くように取り付けてください。



■フルフェイス用ワイヤーマイク

フルフェイスタイプのヘルメットに適したマイクです。マイクに付いている両面テープと面ファスナーで取り付けます。

- 指向性の高いマイクを使用しています。マイクの部分が、装着時に口の前にくるように取り付けてください。



FMアンテナを取り付ける

ヘルメット内部にピンと張った状態で取り付ける。

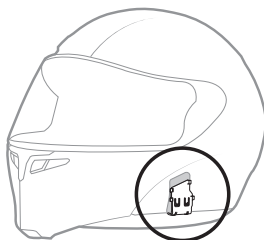
クランプを取り付ける

マグネティックマウントを取り付けるクランプは2種類付属しています。

※取り付けは、取付クランプ(粘着タイプ)をお勧めします。ご購入時は、マグネティックマウントに装着されています。



取付クランプ
粘着タイプ



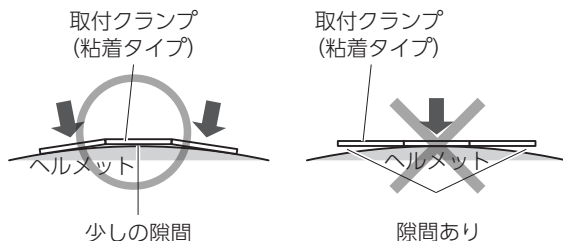
取付クランプ
クリップタイプ

■ 取付クランプ(粘着タイプ)の取り付け

粘着シートで貼り付ける前に、本機をクランプに取り付けて最善の取付場所の位置決めをしてください。

1. ヘルメットの取り付け部分から油分などの汚れを拭き取る。
2. 取付クランプ(粘着タイプ)の粘着シートのフィルムをはがし、装着面に貼り付ける。

粘着シートの両端を装着面にできるだけ隙間の無いよう確実に取り付けてください。

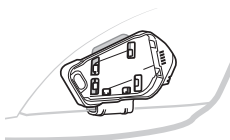


注意

- 粘着直後は脱落する恐れがあります。
- 低温時に粘着シートの柔軟性がなくなる恐れがあるため、10℃以上(なるべく20℃以上)で作業してください。
- 接着後72時間で実用強度の粘着力となります。

■ 取付クランプ(クリップタイプ)の取り付け

マグネティックマウントをクランプに取り付けて、最善の取付場所の位置決めをしてから取り付けてください。



ヘルメットの下から
挟み込みます。

■ スペーサーゴムの使用

取付クランプと同じ形のスペーサーゴムが2種類同梱されています。必要に応じてお使いください。



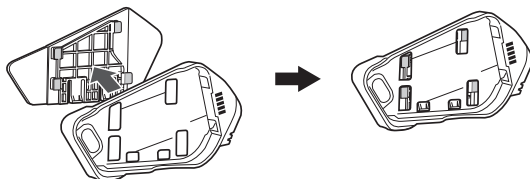
※スペーサーゴムはヘルメットとのぐらつきを抑え、本機のボタンを押しやすくするための部品です。

注意

- 取付クランプは、あらゆる装着テストを基に設計されていますが、本機をヘルメットからの脱着に伴う事故、破損、損失、故障は、保障範囲から外れます。十分注意して取り付けてください。

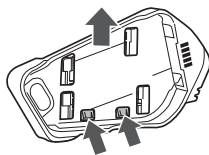
マグネティックマウントを取り付ける

マグネティックマウントをクランプに取り付けます。クランプのフックを合わせて“カッチ”と音がするまで下にスライドします。



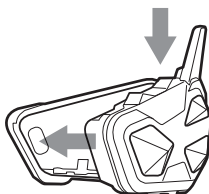
■ 取り外すには

先の細いものでフックを押し、上にスライドします。



本機を取り付ける

本機を45°傾けてマグネティックマウントに端子側を挿入し、もう一方を近づけます。本機が強力な磁石で安全に固定されます。



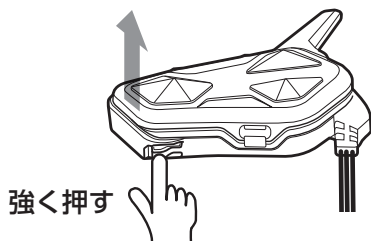
注意

- 本機が完全に固定されていないと脱落する恐れがあり危険です。装着は完全に行ってください。
- 強力な磁石のため装着時、指の挟み込みに注意してください。

■ 取り外すには

本機は強力な磁石でマウントしています。強く凸部分を押し、片方から本機を取り外します。

※無理に外そうとするとマグネティックマウントの根元が折れたり、端子部が破損したりする要因となります。



操作モード

■MMC(メッシュ)通信モード

MMC通信やBluetoothインカム通信を行うときに使用するモードです。パブリックグループとプライベートグループがあります。

コントロールボタン、アップボタン、ダウンボタンを使用して、登録された相手との通話を開始します。

■フォンモード

スマートフォンの応答や音楽、ナビなどBluetooth接続機器を聞くことができるモードです。

※スマートフォン/ミュージックプレイヤーなどを登録(ペアリング)するとフォンモードへの切り替えができます。

※電話機能を使用する場合は、自己の責任において、十分安全性を確保した上でご使用ください。

■FMラジオモード(ワイドFM対応)

ラジオを聞くモードです。FMラジオ局をサーチすることができます。

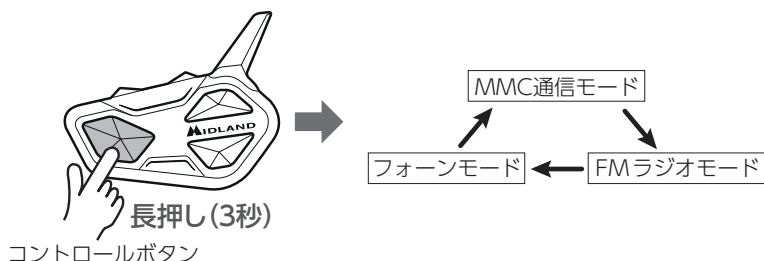
※6局までメモリー登録できます。

対応周波数：76～108MHz

操作モードの切り替えかた

コントロールボタンを3秒押すごとに操作モードが切り替わります。

音声ガイダンスでモードを確かめながら、操作したいモードに変更してください。

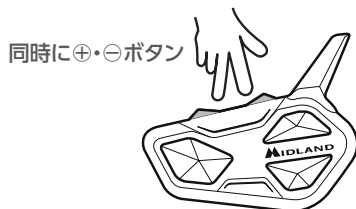


※操作モードが切り替わるごとに「MMC」、「フォン」、「FMラジオ」とアナウンスされます。

※スマートフォンやナビなどのBluetooth機器が登録されていないとフォンモードの音声案内がアナウンスされません。

※本機の電源を入ると、モードが音声でアナウンスされます。

※⊕ボタンと⊖ボタンを同時に押すと、現在のモードがアナウンスされます。



グループについて

■ 特長

- 2種類のグループ (パブリック、プライベート)
※工場出荷時は、パブリックグループです。ご使用になるグループを選択してください。
- 同時通話が可能 (パブリック [最大10人]、プライベート [最大6人])
※最大人数を超える場合は、ゲストメンバーとして参加可能 (無制限)
- 通信中の合流・離脱が可能
- ペアリング不要で通話が可能

	パブリックグループ	プライベートグループ
同時通信	最大10人	最大6人
エンクリプション機能	×	○
ゲストモード	○	○
⊕ボタン登録デバイス ステレオブレンド	○	○
バックグラウンド ワイドFM	○	○
最大使用人数	10人まで	6人まで

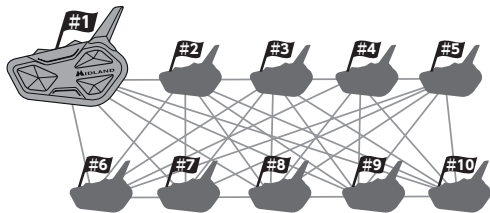
注意

通信距離は、見通しが可能な条件での最大値です。通信する相手が見える位置での通信がお勧めです。

パブリックグループ

人数優先モード

多くの人と通話したい(10人同時通話)



RUSH RCF間でのペアリング作業の必要がない、簡単接続モードです。チャンネル番号を選択して、発呼ボタンを押すだけで10人+ゲストがMMCネットワークに入れます。ゲストの人数限定はありません。公開チャンネルを使用するので、他のユーザーが空いているチャンネル番号を使用している場合は、秘話性はありません。

注意

公開チャンネルを使用するので、同じチャンネル番号を持ったグループ外のRUSH RCFと重複する可能性があります。

例1: 10人のメンバーを登録することができます。それぞれのメンバーが重複しないように、1番から10番までチャンネル番号を設定。Aさんは、常に1番、Bさんは2番、Cさんは3番～Jさん10番、というように設定します。ツーリングの際には、この10人の中で、どの方が参加されても設定を変えることなく、ボタン1つで全員と会話ができる便利モードです。

例2: ゲストは、何人でもネットワークの中に入ることができますが、聞くのみの参加になります。人数の制限はありません。10人以上の大型ツーリングで、11人目、12人目の方は圏内であれば案内(指示)を受けることが可能です。

例3: 5番に登録されている、Eさんが不参加の場合、11人目のKさんは、そのツーリングの時に自分(RUSH RCF)のチャンネル番号をゲストから5番に変更するだけで、Kさんは話ができるようになります。

ヒント

ツインパック(2個入り)でご購入されたRUSH RCFは既にチャンネル2番、チャンネル3番で設定済みです。

■ 設定と通話方法

自分のチャンネル番号(背番号)を選択して、通話をスタートしてください。

ヒント

1つのチャンネル番号から、同じチャンネル番号への発着信はできません。メンバー全員が違うチャンネル番号であることを確認してください。

操作手順

1. 本機の電源を入れる。
2. コントロールボタンを3秒押す。
「MMCモード」とアナウンスされます。他のモードの音声案内の場合、コントロールボタンを再度3秒押して、MMCモードに切り替えます。



3. MMCモードよりパブリックグループになっていることを確認する。
アップボタンとコントロールボタンを、同時に3秒押すごとにモードが切り替わります。



4. グループ10人で#1～#10のチャンネル番号を決め、⊕ボタンと⊖ボタンを同時に押す。



現状のチャンネル番号が音声案内されます。音声案内から5秒以内に⊕ボタンまたは⊖ボタンのいずれかを押して番号を選びます。⊕ボタンを押すと、チャンネル番号が上がっていきます。この方法で、ゲスト設定の選択も可能です。

例：1→2→3→4→5→ ……8→9→10→ゲスト→1→2

ヒント

- ⊕ボタンまたは⊖ボタンを押すことによって自分のチャンネル番号を変更することができます。チャンネル番号案内より5秒経過することで、そのチャンネル番号に設定されます。
- グループ内で同一のチャンネル番号がある場合は通信エラーになります。

5. メンバー全員がコントロールボタンを押して、メッシュ接続する。

音声案内の「メッシュ接続」で確認します。白色LEDと緑色LEDが交互点滅になりますと接続が完了です。

6. MMC通信からの離脱は、再度コントロールボタンを押す。

音声案内の「メッシュ離脱」で回線を閉じます。

注意

Bluetooth接続と違い、参加するメンバー全員がコントロールボタンを押して発呼する必要があります。

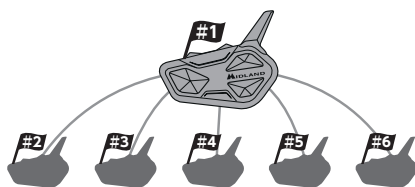
プライベートグループ

距離優先モード

- 長距離ライダーにおすすめ
- 秘話性に優れる

■ 設定と通話方法

自分のチャンネル番号(背番号)を選択して、通話をスタートしてください。



ヒント

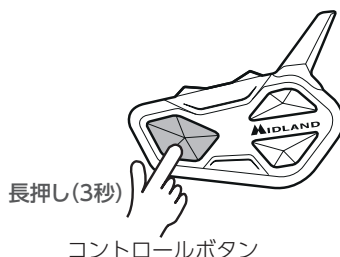
1つのチャンネル番号から、同じチャンネル番号への発着信はできません。メンバー全員が違うチャンネル番号であることを確認してください。

操作手順

1. 本機の電源を入れる。

2. コントロールボタンを3秒押す。

「MMCモード」と音声案内されます。他のモードの音声案内の場合、コントロールボタンを再度3秒押して、MMCモードに切り替えます。



3. MMCモードよりプライベートグループになっていることを確認する。

コントロールボタンとアップボタンを、同時に3秒押すごとにモードが切り替わります。



4. グループ6人で#1～#6のチャンネル番号を決め、⊕ボタンと⊖ボタンを同時に押す。



現状のチャンネル番号が音声案内されます。音声案内から5秒以内に⊕ボタンまたは⊖ボタンを同時に押して番号を選びます。⊕ボタンを押すと、チャンネル番号が上がっていきます。この方法で、ゲスト設定の選択も可能です。

例：1→2→3→4→5→6→ゲスト→1→2

ヒント

- ⊕ボタンまたは⊖ボタンを押すことによって自分のチャンネル番号を変更することができます。チャンネル番号案内より5秒経過することで、そのチャンネル番号に設定されます。
- グループ内で同一のチャンネル番号がある場合は通信エラーになります。

5. メンバー全員がコントロールボタンを押して、メッシュ接続する。

音声案内の「メッシュ接続」で確認します。白色LEDが点滅になりますと接続が完了です。

6. MMC通信からの離脱は、再度コントロールボタンを押す。

音声案内の「メッシュ離脱」で回線を閉じます。

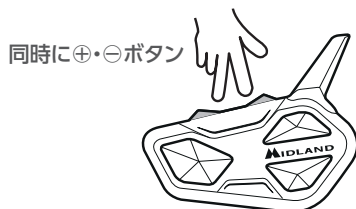
注意

Bluetooth接続と違い、参加するメンバー全員がコントロールボタンを押して発呼する必要があります。

グループの切り替えかた

1. 本機がMMCモードであることを確認する。

MMCモードの時に、⊕ボタンと⊖を同時に押すと、本機のチャンネル番号と現在設定されているグループ名がアナウンスされます。



2. アップボタンとコントロールボタンを同時に3秒押す。

グループが切り替わり、音声案内が流れます。

希望のグループにならなかった場合は、再度アップボタンとコントロールボタンを押します。新しいグループ名がアナウンスされます。



ヒント

- 白色LEDと緑色LEDが交互点滅：パブリックグループ
白色LEDの点滅：プライベートグループ

エンクリプションキー(デジタルID)について

プライベートグループはエンクリプションコードを登録することで、より秘話性に優れた通話が可能になります。エンクリプションコードが登録済みであれば、自由に離脱や参加ができます。

■エンクリプションキーの設定と通話方法

※最初に、「マスターユニット(親機)」として1台決めます。マスターユニットは、どのRUSH RCFでも構いません。

※本機が満充電である状態を確認する。

操作手順

1. 本機とペアリングするインカムの電源をすべて切る。

2. マスターユニットのコントロールボタンを7秒押す。

赤色LEDが点灯することを確認してください。



3. マスターユニットのLEDが赤色状態で、マスターユニットのコントロールボタンを3秒押す。

白色LEDがゆっくり点滅を始めます。



4. マスターユニットのコントロールボタンを再度3秒押す。

青色LEDが点滅を始めます。



5. ペアリングする対象モデル全てのコントロールボタンを7秒押す。

マスターユニット以外の他のRUSH RCF製品の対応を行います。

※赤色LEDが点灯することを確認してください。



6. マスターユニット以外のすべての機器のコントロールボタンを3秒押す。

白色LEDが点滅します。

※マスターユニットと、10m以内にいるRUSH RCFがエンクリプションキーを交換します。



7. ペアリングが完了する。

RUSH RCFの赤色LEDが点灯状態になります。

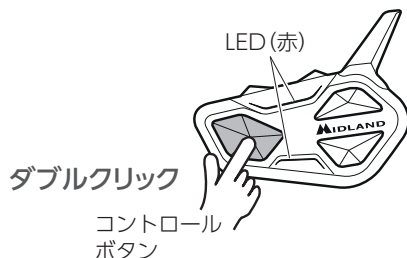
8. スマートフォンなどの登録がなければ、登録モードを終了する。

コントロールボタンをダブルクリックで通常モードに戻ります。スマートフォン・ナビなどの登録は、[36 ページ](#)を参照してください。

※この時点で、マスターユニットは、緑色LEDが点滅を継続しています。この状態は、エンクリプションキーを配信し続けています。

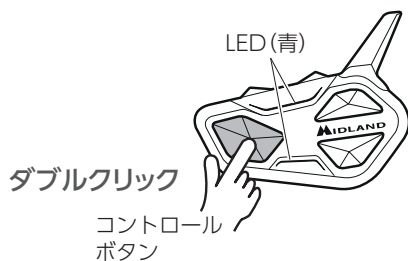
9. コントロールボタンをダブルクリックする。

登録モードを完了し、赤色LEDが点灯します。



10. 再度コントロールボタンをダブルクリックする。

通常のオペレーションモードになり、青色LEDが点滅状態になります。



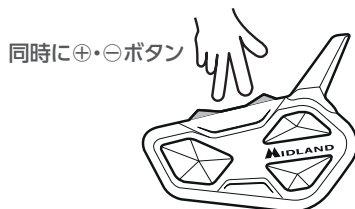
11. アップボタンとコントロールボタンを同時に3秒押す。

プライベートグループに切り替わります。



12. ⊕ボタンと⊖ボタンを同時に押す。

現状のモードの案内とチャンネル番号が音声案内されます。



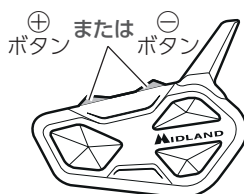
13. 音声案内から5秒以内に⊕ボタンまたは⊖ボタンを押す。

自分のチャンネル番号を変更することができます。

⊕ボタンを押すと、チャンネル番号が上がっていきます。

この方法で、ゲスト設定の選択も可能です。

例：1→2→3→4→5→……8→9→10→ゲスト→1→2



14. 自分のチャンネル番号(背番号)を選択する。

メンバーがそれぞれ、異なる番号になるようにチャンネル番号設定をお願いします。圈内に同じ番号がいますと、通信障害を起こします。

15. コントロールボタンを押して、メッシュ接続する。

音声案内の「メッシュ接続」で確認します。青色LEDと白色LEDが交互点滅するとプライベートグループでの接続が完了です。

MMC通信の離脱は、再度コントロールボタンを押します。音声案内の「メッシュ離脱」から回線を閉じます。

注意

Bluetooth接続と違い、参加するメンバー全員がコントロールボタンを押して発呼する必要があります。

エンクリプションキー(デジタルID)のリセット方法

プライベートグループで使用されるエンクリプションキーは、通信システム内部に格納されていますが、新しいマスターユニットからの新たなペアリング情報(要求)があった場合、既存(古い)IDは、上書きされます。

■強制的に、エンクリプションコードを消去する

1. 本機の電源を切る。
2. コントロールボタンを7秒押す。

赤色LEDの点灯を確認します。



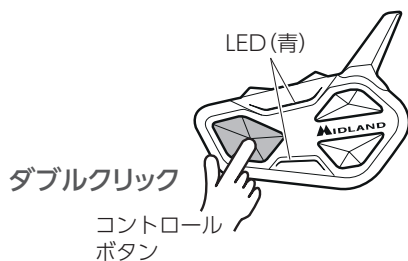
3. アップボタンとダウンボタンを同時に3秒押す。

青色LEDの点灯後、赤色LEDが点灯するとコードの消去が完了します。



4. コントロールボタンをダブルクリックする。

通常オペレーションモードに戻り、青色LEDが点滅します。



操作一覧表

ボタン モード	コントロールボタン	アップボタン	ダウンボタン
MMC(メッシュ)通信	1クリック： RUSH RCF との MMC通信ON/OFF 長押し：モード切替 ダブルクリック： 音楽の再生※	1クリック： ペアリングした他の インカムとの 通話開始 / 通話の終了	1クリック： ペアリングした他の インカムとの 通話開始 / 通話の終了

※ ⊕ボタンに音楽プレイヤーが登録されている場合。

RUSH RCF ゲスト

登録済みの10人はチャンネル番号を使用する以外に、ゲストチャンネルを選択することができます。
ゲストは、話すことはできません。

ツーリングが10人以上になった場合、11人目からはゲストとしてチャンネル番号を設定して、指示や会話を聞くことが可能です。

また、集団で移動されるグループの指示系統にご活用いただけます。

※設定は、[25 ページ](#)の【操作手順】をご参照ください。

MIDLAND製インカムとのペアリング

本機 1 台につき 3 台 (MIDLAND 製：2 台、他社製 1 台) までペアリングできます。

注意

Bluetooth接続は1対1の通信となります。Bluetooth接続時の有効距離は最大500mです。使用環境により約200～300m前後となる場合があります。(ブリッジ接続OFFの場合)

MIDLAND 製インカムを2台ペアリングすることができます。

例：BT NEXT PRO, BT X2PROS, BT X1PROS, BT X1PRO

※本機のアップボタンとダウンボタンに登録できます。

■ペアリングのしかた

1. 本機の電源を切る。
2. コントロールボタンを7秒押す。

赤色LEDが点灯します。

※赤色の点灯は登録モードです。色々な登録をする際に、ここからスタートします。



3. 登録するアップボタンまたはダウンボタンのどちらかを3秒押す。

LED点滅が、赤色と青色の早い交互点滅となります。

※アップボタンとダウンボタンにMIDLAND製インカムをそれぞれ1台ずつ接続できます。

※登録は2台可能ですが、一度に通話できるのは1台です。

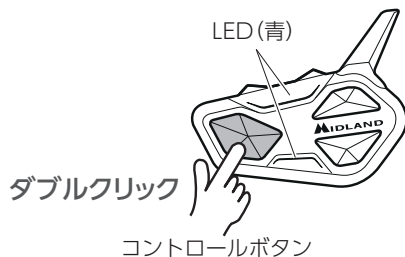


4. 登録したい相手のMIDLAND製インカムも同様に、ペアリングモードから選択したキーを押して青と赤の早い交互点滅にする。
5. ペアリングが完了する。

青色LEDが1秒点灯し、その後赤色で点灯します。

赤色LED点灯状態は、ペアリングの設定モードです。他にペアリングするモデルがある場合は、別のボタンでペアリングしてください。

6. 他にペアリングをするモデルがない場合は、コントロールボタンをダブルクリックする。
青色LED点滅し、設定モードから通常オペレーションモードへ移行されます。



■発信のしかた

1. 本機をMMCモードにする。
2. ⊕ボタンまたは⊖ボタンを同時に押す。
モード音声案内がされます。
※モードの切り替えは、コントロールボタンを3秒押します。



3. 相手のインカムの電源が入っていることを確認する。
4. ペアリングが完了したボタン(アップボタンまたはダウンボタン)を押す。
数秒後、接続が完了して、音声があります。
※再度同じボタンを押すと会話が切断されます。



他社製インカムとのペアリング

ユニバーサルインカム機能でアップボタンに他社インカムを1台ペアリングできます。
※MIDLAND製インカムもユニバーサルインカム機能を使って登録することができます。

■ユニバーサルインカム機能

本機は、インカムとして他社製品を登録します。他社製品側からは、本機をスマートフォンとして認識します。

ペアリング後は通常のインカム通信として交信します。

注意

- MIDLAND製インカムも他社製として登録が可能です。
- ペアリングさせる2台の機器のみ電源が入っている状態で行ってください。

■ペアリングのしかた

1. 本機の電源を切る。
2. コントロールボタンを赤色LEDが点灯するまで7秒押す。
セットアップモードに入ります。



3. アップボタンを7秒押す。

ペアリングモードに入ります。

※青色と赤色のLEDが、早い点滅が始まりゆっくりした点滅へと変わります。

※LEDが早い点滅状態でボタンを離してしまった場合、電源をOFFにしてからやり直してください。



4. 他社インカム製品を操作して本機とペアリングする。

①他社製品をスマートフォンとペアリングするのと同じ手順で操作します。

②自動的に登録操作が開始されます。

③本機と他社製品の登録が完了すると青色LEDがゆっくりと点滅します。

※他社製品にスマートフォンが登録されていると、ペアリング時、上書きされます。

※MIDLAND製インカムを他社製品として登録する場合、スマートフォンのペアリング方法でペアリングします。

※詳しくは、他社製品の取扱説明書を参照してください。

■インカム通話する

1. 本機をMMCモードにする。

2. アップボタンを3秒押す。

数秒後にピープ音が聞こえ、インカム通話が開始されます。



インカム通話を切る

アップボタンを再度押します。ピープ音が聞こえ、インカム通話を終了します。

他社インカム製品の操作

インカム通話するには、リダイヤル発信と同じ操作をします。

インカム通話をやめるには、スマートフォンを終話する操作と同じです。

詳しくは、他社製品の取扱説明書を参照してください。

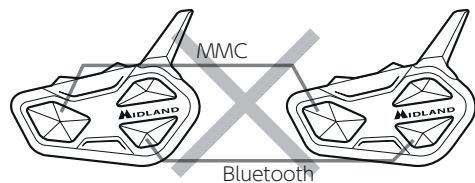
ヒント

MMCモードで本機以外のBluetoothインカムと通話をしている時に、別のRUSH RCFと話がしたくなった場合、Bluetoothインカム通話を閉じる操作無しにMMC発信が可能です。MMCモードで、コントロールボタンを押すとMMC通信に接続できます。その際Bluetoothインカム通話の回線を自動で切断します。

■VOX発信機能

- 音声でインカム発信することができます。
- ※工場初期設定はOFFです。
- ※MMCモードからダウンボタンを7秒押して、VOX機能をONにすることができます。
- ※本機からのVOX発信機能は、ダウンボタンに登録したインカムが対象となります。
- ※少し大きめの音声でないと動作しない場合があります。
- ※PCプログラム「BT UPDATER」で詳細設定ができます。MIDLANDホームページからダウンロードできます。

注意
RUSH RCF 同士のBluetoothインカム通信とMMC通信を同時に使用はしないでください。通信障害を引き起こします。



Bluetoothインカム通信とメッシュ通信を同時に使用しない

ヒント
MMCモードでRUSH RCF以外のBluetoothインカムと通話をしている時に、別のRUSH RCF 通話する場合、Bluetoothインカム通話を閉じる操作無しに、MMC発信が可能です。MMCモードで、コントロールボタンを押すとMMC通信に接続できます。その際Bluetoothインカム通話の回線を自動で切断します。

■ブリッジ接続

「ブリッジ接続」を利用すると、本機1台につき1台のBluetoothインカム、MIDLAND製インカム、他社製インカムをMMC通信に参加させることが可能です。MMC通信時の発着信優先度は下表を参照してください。工場出荷時は、MMC通信時にBluetoothインカムへの発着信がある場合、MMC通信が切断されBluetoothインカムとの通話を優先します。

MMC通信時		
	ブリッジON	ブリッジOFF
Bluetooth インカム着信	MMC通信に Bluetoothインカムも参加	インカム着信優先
Bluetooth インカム発信		インカム発信優先

注意

- 工場出荷時は、ブリッジOFFです。
- ブリッジ接続でのBluetoothインカムとの有効距離は約10mです。タンデム用としてご使用ください。

■ 接続例

本機RUSH RCF①がMIDLAND製Bluetoothユニット(例: BTX2 PRO S)と接続、同時に、RUSH RCF②が接続されている場合

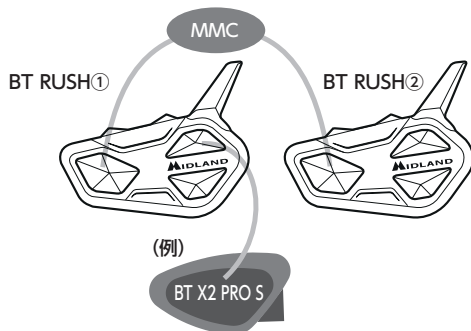
ブリッジ接続オン

本機RUSH RCF①の⊕ボタンを押します。

音声案内「ブリッジON」と流れます。

この状態で、Bluetoothの音声(BT X2 PRO Sの音声)を、RUSH RCF本機を経由して、MMCネットワークに流せます。

同時に、MMCネットワークの音声を、Bluetooth機器に流すことが可能となります。



ブリッジ接続OFF

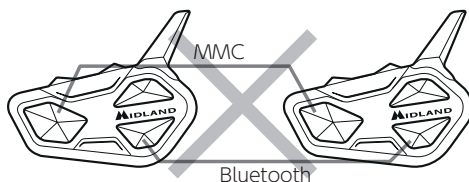
再度⊕ボタンを押すと、「ブリッジOFF」の音声流れます。

橋渡しが行われない状態となり、BT X2 PRO Sの音声はMMCネットワークに送られなくなります。

結果、Bluetoothからの音声は、中心である本機RUSH RCF①のみしか聞けなくなります。

注意

RUSH RCF同士のBluetoothインカム通信とMMC通信を同時に使用はしないでください。通信障害を引き起こします。



Bluetoothインカム通信とメッシュ通信を同時に使用しない

スマートフォンやBluetoothデバイスとのペアリング

スマートフォン／ミュージックプレイヤーとのペアリングは、⊕ボタンを使用します。また、⊖ボタンを使用してさらにもう1台のスマートフォンを登録できます。ペアリングが完了後、フーンモードのアナウンスされます。

※スマートフォンに着信があった場合、着信を優先させるため、音楽の再生、FMラジオは中断されます。

※⊖ボタンに登録したスマートフォンは、発着信および通話が可能ですが、音楽などを聞くことはできません。音楽などを聞く場合は、⊕ボタンに登録してください。

※⊕ボタンまたは⊖ボタンにそれぞれ1台のBluetooth機器を接続できます。

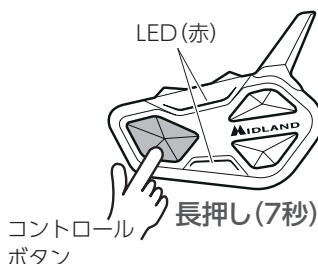
※⊕ボタンにA2DP/HFP対応のBluetooth機器を接続できます。⊖ボタンにHFP/HSP対応のBluetooth機器を接続できます。

注意

本機にBluetooth機器をペアリングし、MMC通信のバックグラウンドで音声を聞く際は、MMC通信距離が減衰する場合があります。

ペアリングのしかた

1. 本機の電源を切る。
2. コントロールボタンを赤色LEDが点灯するまで7秒押し。
セットアップモードに入ります。



3. ⊕ボタンまたは⊖ボタンを3秒押ししてペアリングモードにする。
※ペアリングモードに入ると青色LEDと赤色LEDが交互点滅します。



⊕ボタン：スマートフォン／ミュージックプレイヤー

⊖ボタン：スマートフォン (電話発着信のみ)

4. スマートフォンなどのマニュアルに従ってBluetooth検索をONにする、またはペアリング状態にする。

※スマートフォンに本機が認識されると、[Midland RUSH RCF] と表示されます。

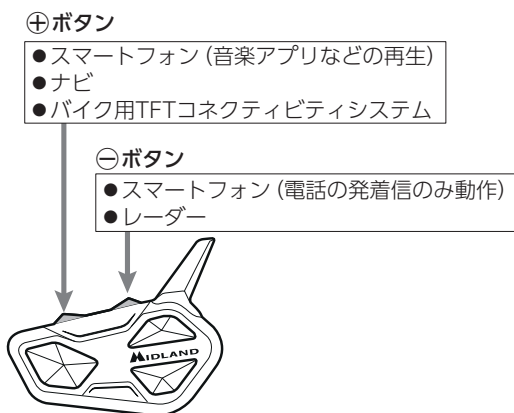
5. [Midland RUSH RCF] を選択する。

※PIN CODEを要求された場合は(0000)を入力してください。

※スマートフォンなどのBluetooth機器の登録方法および操作については、それぞれ付属のマニュアルを参照してください。

※登録が完了すると青色LEDがゆっくり点滅し、自動でペアリングモードから抜けて使用できる状態となります。

接続のしかた



■ ⊕ ボタンへ接続された機器 (音源)

インカムと、⊕ボタンに接続された機器の音声を同時に聞くことはできません。インカム、FMラジオの音声より優先度が高くスピーカーに出力されます。

MMC通信時

MMC通信のバックグラウンドで、プラスの音源を聞くことができます。

例えば、iPhoneが接続されていて、音楽とナビを流している場合、MMC通信を行なっている最中に、バックグラウンドで音楽とナビの音声が流れます。

※iPhoneの音量は、iPhone機器よりボリューム調整可能です。

※⊕ボタンより接続された音声は、接続されたRUSH RCFユーザーのみ聞くことができます。

Bluetoothインカム通信時

Bluetoothインカムと、⊕ボタンに接続された機器の音声を同時に聞くことはできません。インカム、FMラジオの音声より優先度が高くスピーカーに出力されます。

■ ⊖ ボタンへ接続された機器 (音源)

バックグラウンド機能をONにするとHSP対応のレーダーなどの音声(モノラル音声)をバックグラウンドで聴きながらインカム通話が可能です。

■HSP対応のレーダー(モノラル音声)のバックグラウンドフィーチャー

MMC通信で通話中に通話を切断することなくレーダーの音声を聞く場合は、バックグラウンドフィーチャーをONにする必要があります。

※バックグラウンドフィーチャーは、MMCモードでのみ有効です。使用するには、MMCモードにしてください。

※HSPに対応したレーダーをペアリングしたときに動作します。

ON / OFFの仕方

⊖ボタンを3秒押して、ON / OFFを切り替えます。



設定がON：「バックグラウンド機能ON」とアナウンス

設定がOFF：「バックグラウンド機能OFF」とアナウンス

キー操作

■フォーンモードでのアップボタン操作

- スマートフォンが⊕ボタンに登録されていること。
- モードは、フォーンモードに設定されていること。

【アップボタンを1クリック】

スマートフォンのAIアシスタント

Siriなどの機能の呼び出し機能

※スマートフォンの仕様によっては動作しない場合があります。



【アップボタンをビープ音が鳴るまで長押し】

スマートフォンのリダイヤル機能を使用して発信します。

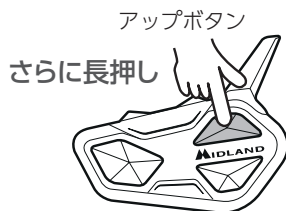
※最後に発信した番号へ再度発信します。



【さらに長押し(2度目のビープ音がくるまで)】

短縮ダイヤルへ発信します。

※あらかじめBT UPDATERで短縮ダイヤルの設定が必要です。



ヒント

iPhoneの場合：アップボタンの1クリックでSiriが立ち上がります。

「近くのコンビニを探して」→「そこまでナビをして」→ナビ開始「会社に電話して」→電話発信

■MMCモードでのアップボタン操作

※MMCモードに設定されていること。

【アップボタンを1クリック】

登録されたインカムへ発信します。もう一度押すと、終話します。



【アップボタンを長押し(ビープ音が鳴るまで)】

他社登録発信

※ 他社インカムの登録が必要です。

※ 1つのキーで、ボタンが押される時間により発信先が異なります。スピーカーから発信される音に注意してボタンを離してください。



操作方法

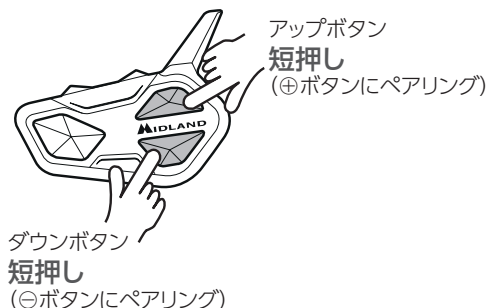
フোনモードの時、リダイヤル発信、着信応答、音楽を聞くなどの操作ができます。

フोनモードにするには、コントロールボタンを「フオンモード」とアナウンスされるまで3秒長押しします。

スマートフォンの着信に応答するには

⊕ボタンにペアリングしたスマートフォンは、アップボタンを押す。

⊖ボタンにペアリングしたスマートフォンは、ダウンボタンを押して着信に応答してください。



着信拒否

着信に出たくない場合は、アップボタンまたはダウンボタンを“ピッ”と音が鳴るまで長押しします。

電話をかける

電話のかけ方は3通りあります。操作モードは、フォンモードに設定します。

A：スマートフォンのSiriなどの音声認識を起動して発信

アップボタンまたはダウンボタンを1クリック

※スマートフォンの仕様によっては動作しない場合があります。

※スマートフォンが音声認識機能に対応している必要があります。

※音声認識の精度は、スマートフォンの音声認識機能に依存します。



B：スマートフォンのリダイヤル機能を使用して発信

アップボタンまたはダウンボタンをビープ音が鳴るまで長押し



C：短縮ダイヤルで発信

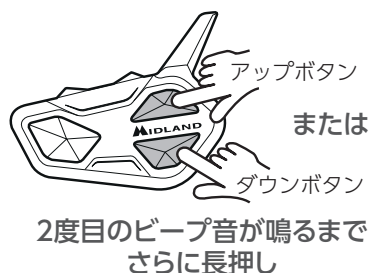
アップボタンまたはダウンボタンを2度目のビープ音が鳴るまでさらに長押し

※あらかじめ【BT PRO Set アプリ】で短縮ダイヤルの設定が必要です。(P.50 参照)

※短縮ダイヤルを1つ⓪ボタンに登録することができます。

※スマートフォンが音声認識機能に対応している必要があります。

※音声認識の精度は、スマートフォンの音声認識機能に依存します。

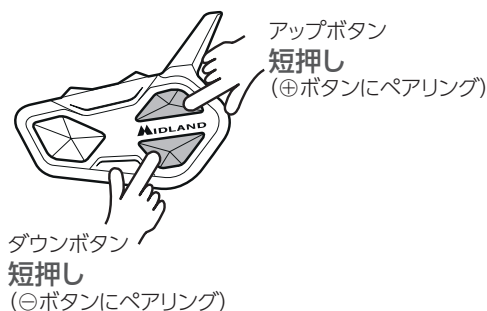


電話を切る

通話中の電話の切り方は3通りあります。

A：相手が電話を切るまで待つ。(自動的に電話が切れます。)

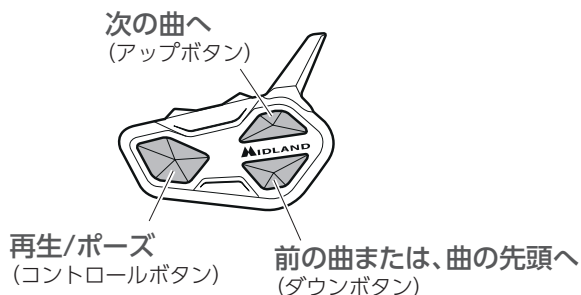
B：⊕ボタンにペアリングした電話の場合、アップボタン、
⊖ボタンにペアリングした電話の場合、ダウンボタンを押して切る。



C：スマートフォンを操作して電話を切る。

スマートフォン、ミュージックプレイヤーの音楽を聞く

本機のボタンを使用してミュージックプレイヤーを操作できます。操作モードは、必ずフォンモードにしてから操作してください。



※⊕ボタンに登録したスマートフォンの音楽のみ操作できます。

※音楽を再生中に着信があったりインカム呼出されたりした場合は、音楽が中断されます。

FMラジオを聞く

FMラジオモードにする

コントロールボタンを3秒押し、操作モードをFMラジオモードにする。
本機でFMラジオを聞くことができます。



※操作方法は、【操作一覧表】を参照してください。(P.46参照)

■FMラジオモードでのインカム通話

ダウンボタンに登録されている相手のみ、ボイスアクティベーション機能を使用してインカム呼び出しができます。

FMラジオをON/OFFする

コントロールボタンを押してON/OFFを切り替える。

ラジオON：ホワイトノイズまたは受信している放送が聞こえます。

ラジオOFF：何も聞こえません。

受信可能なFM局をサーチ

1. コントロールボタンを押してラジオをONにする。

2. アップボタンまたはダウンボタンを押す。

受信可能なFM局をサーチし、受信できる局で止まります。



※FM局をサーチしている間、無音状態になります。

登録したFM局を聞く

1. コントロールボタンを押して、ラジオをONにする。
2. アップボタンまたはダウンボタンを押す。

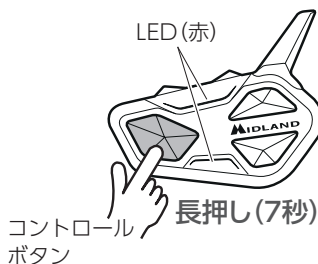


3. メモリー番号がガイダンスされるので、選局したいメモリー番号までアップボタンまたはダウンボタンを押す。

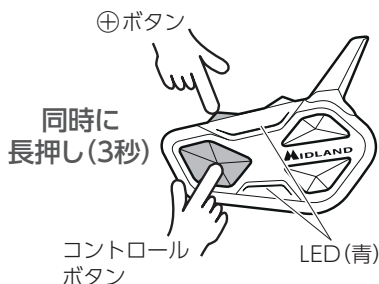
FMラジオを使用しない

操作モードの「FMラジオ」を選択できないように設定し、FMラジオを聞けなくします。

1. 本機の電源を切る。
2. コントロールボタンを赤色LEDが点灯するまで7秒押す。
セットアップモードに入ります。



3. コントロールボタンと⊕ボタンを同時に3秒押す。

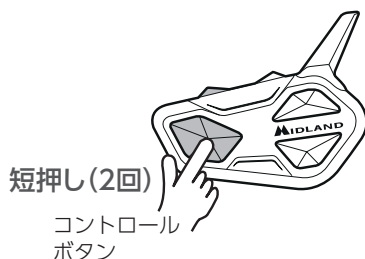


青色LEDが3回点滅：FMラジオを使用しない

青色LEDが1回点灯：FMラジオを使用する

※希望した設定にならなかった場合、コントロールボタンと⊕ボタンを再度同時に3秒押してください。

4. コントロールボタンを2回押す。
セットアップモードが終了されます。



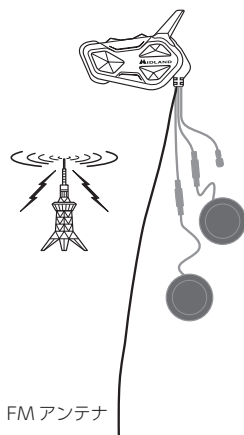
FMラジオの受信確認

屋内ではラジオの電波が入りにくい場合があります。ヘルメットに取り付ける前に、屋外などでFMラジオの受信確認をお願いします。

1. 本機にマグネティックマウント、スピーカーを取り付ける。
2. 操作モードをFMラジオモードにする。
3. FMアンテナを、しっかりと張る。
4. アップボタンを押す。

受信可能なFM局をサーチします。(P.43参照)

※FMラジオモードで何も音が聞こえない(無音)場合は、FMラジオがOFFになっている可能性があります。本機のコントロールボタンを一度押してFMラジオをONにしてください。



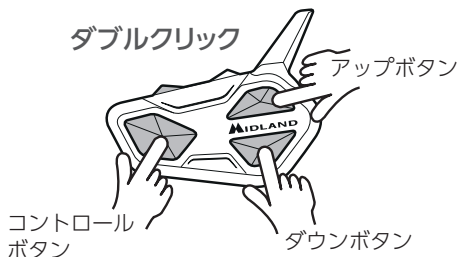
FMラジオ聴取時のインカム通話

FMラジオを聞きながらインカム通話ができます。

■ ラジオを聞いたままペアリングした相手呼び出し

呼び出し方

FMラジオモード時、ペアリングしたボタンをダブルクリックする。



※アップボタン、ダウンボタンにはMIDLAND製の他のモデルがペアリング可能です。各ボタンをダブルクリックすると呼び出せます。

■ ボイスアクティベーション機能での呼び出し

呼び出し方

ボイスアクティベーション機能をONにする。(P.49 参照)

※FMラジオを聞きながら⊕または⊖ボタンにペアリングされた機器を同時に聞くことはできません。
(機器側の動作は一時停止します)

操作一覧表

ボタン モード	コントロールボタン	アップボタン	ダウンボタン
MMC(メッシュ) 通信	1クリック： RUSH RCF との MMC通信ON/OFF	1クリック： RUSH RCF 以外の Bluetooth インカムとの通 話開始 / 通話の終了	1クリック： RUSH RCF 以外の Bluetooth インカムとの通 話開始 / 通話の終了
フォーン (電話)	—	【⊕ボタンに登録した スマートフォン】 1クリック：着信応答 長押し：リダイヤル発信	【⊖ボタンに登録した スマートフォン】 1クリック：着信応答 長押し：リダイヤル発信
フォーン (音楽プレイヤー)	1クリック： 再生 / 一時停止	1クリック： 次の曲へ曲送り	1クリック： 前の曲へ戻る
FMラジオ	1クリック： FMラジオ ON / OFF	1クリック： ラジオ選曲 (Up)	1クリック： ラジオ選曲 (Down)

その他の機能

AGC機能(ボリュームの調整)

本機は環境に合わせ自動的にボリュームを調整します。

手動での調整は⊕ボタンまたは⊖ボタンを押してください。

※AGC機能により、車速度が速くなるとボリュームが大きくなります。

■設定のしかた

⊕ボタンと⊖ボタンを同時に3秒押すと設定値がアナウンスされます。

- ON：「AGC ON」とアナウンス
- OFF：「AGC OFF」とアナウンス



※希望した設定にならなかった場合、もう一度⊕ボタンと⊖ボタンを同時に3秒押して設定してください。

※FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

音楽をシェアする(ライダーとパッセンジャー)

ライダーの聞いている音楽を、同時にパッセンジャーも聞くことができます。

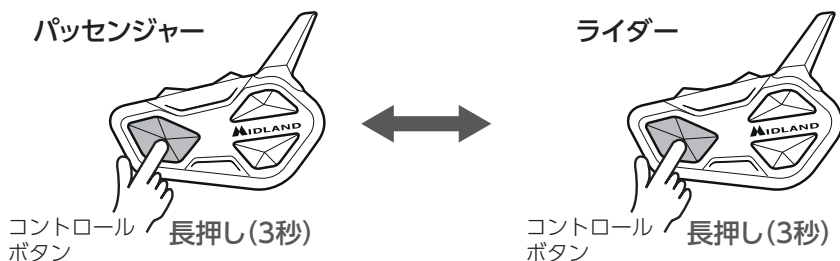
※インカム通話、電話で通話中に音楽をシェアすることはできません。

※シェアできるインカムは、ドライバーのインカムのダウンボタンにペアリングされたインカムのみです。

※シェア中のインカムとの最大通信距離は10mです。

■シェアを開始する

1. パッセンジャー側でインカムのコントロールボタンを3秒押す。
インカムモードまたはフォーンモードに入ります。
2. ライダー側でインカムのコントロールボタンを3秒押す。
フォーンモードに入ります。



3. ライダーのインカムのコントロールボタンを押して、音楽を再生する。

ライダー



4. ライダーのダウンボタンを3秒押す。

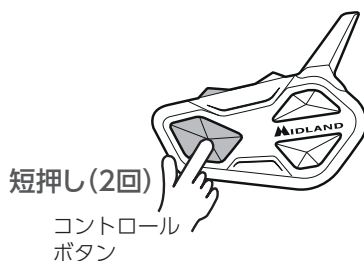
パッセンジャーと音楽をシェアが開始されます。

ライダー



■シェア中に通信相手を呼び出す

ライダーもしくはパッセンジャーのコントロールボタンを2回押すと、インカム通話呼び出しができます。



■シェアを中止するには

ライダーのダウンボタンまたはパッセンジャーのコントロールボタンを3秒押す。



ボイスアクティベーション

マイクに向かって話すとインカム通話を開始することができます。

※工場出荷時はOFFです。



注意

- ダウンボタンに登録されたMIDLAND製インカムのみ、呼び出しが可能です。ダウンボタンにインカム登録が無い場合はON/OFFの設定や機能の動作はできません。

■設定のしかた (ON/OFF)

ダウンボタンを「ボックス機能ON」または「ボックス機能OFF」とアナウンスされるまで7秒押しします。



※ON/OFFが交互に変わります。違った設定(ON/OFF)になった場合は、もう一度設定操作を行ってください。

※FMラジオモードでは、ラジオをOFFにしてから操作してください。

■インカム通話するには

マイクに向かって話しかけます。

※数秒後にピープ音が聞こえ、インカム通話が開始されます。

■インカム通話を中止するには

ダウンボタンを押して中止します。また、通話をしない状態が約40秒間続くと自動的にインカム通話を中止します。

■調整のしかた

ボイスアクティベーション機能は、周囲の環境音の影響を受けます。誤動作をした場合は、調整を行ってください。工場出荷時は、携帯着信「ON」インカム発信「OFF」です。【BT PRO Setアプリ】で設定してください。(P.50参照)

ソフトウェア (Firmware) のアップデート

付属のUSB充電ケーブルでパソコンと接続し、ソフトウェア (Firmware) をアップデートします。
MIDLANDのホームページの下記アドレスからPCソフトウェア、アップデートマニュアル、ソフトウェア (Firmware) をダウンロードしインストールしてください。

Webサイト: <http://www.midlandradio.jp/support/program.html>

※ソフトウェアをインストール中は、電源を切らないでください。

※対応OS: Windows10以降

※本機を満充電で操作してください。

BT アップデータ

本機のアップグレードが可能です。

Windows 版

<http://www.midlandradio.jp/support/program.html>

BT PRO Setアプリ

ファームウェアバージョンの確認や短縮ダイヤル、AGCのON/OFF、FM局の登録、マイク感度などの設定ができます。

BT PRO Setアプリのダウンロード・インストール



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.midlandeuropa.btsetappro&hl=ja>



<https://apps.apple.com/jp/app/btpro-setapp/id1511695564>

■ Android

1. 本機が電源OFFの状態からコントロールボタンを7秒押す。
赤色LEDが点灯します。
2. ⊕ボタンを3秒押す。
青色/赤色LEDが点滅します。
3. スマートフォンのBluetooth探索部分から、MIDLAND インカムを選択する。
※2分以内にアプリを起動してください。2分以上経過すると、ペアリングができなくなります。
その場合は、本機の電源をOFFにし、Step1 から設定し直してください。

■ iOS (iPhone)

1. 本機が電源OFFの状態からコントロールボタンを3秒押して、電源ONにする。
青色LEDが点滅します。
2. 2分以内にアプリを起動する。

BT Talkアプリ

BT Talkは距離・人数無制限を実現するMIDLANDのバイク通信用スマートフォンアプリです。
スマートフォンが距離・人数無制限のトランシーバーに様変わりします。

1. BTTalkアプリのダウンロード・インストール



<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.midlandeuropa.bttalk&hl=ja>



<https://itunes.apple.com/jp/app/bttalk/id989746583?mt=8>

2. RUSH RCF とペアリングする。

スマートフォンは、⊕ボタンにペアリングしてください。

- スマートフォンの電話帳と連動して、相手の連絡先を探し、自分の連絡手段にあったグループを作成して一斉交信が可能となります。
- 同じアプリを持っている方の人数制限はありません。30人のグループでの会話も可能となります。
- パケット通信を使用して連絡をしていますので、スマートフォンのネットワーク範囲内では、距離無制限となります。
- スマートフォンの画面が、PTT (発呼) ボタンとなっています。
※別売の「ワイヤレスBTT ボタン」を使用することをお勧めします。

ペアリング情報のリセット

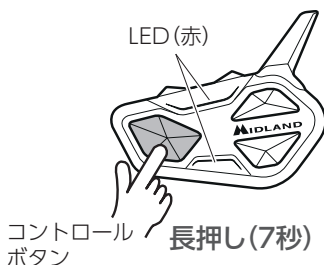
※工場出荷状態にすると全てのペアリング情報はリセットされます。

※バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. 本機の電源を切る。

2. コントロールボタンを赤色LEDが点灯するまで7秒押す。

セットアップモードに入ります。



3. ⊕ボタンと⊖ボタンを同時に3秒押す。

※青色LEDが点灯し、接続機器情報のリセットが開始されます。

※ペアリング情報のリセットが終了すると、赤色LEDが点灯します。



4. コントロールボタンをダブルクリックする。

※セットアップモードを終了し、ペアリング情報をリセットします。



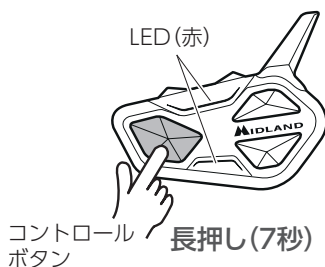
工場出荷時の設定に戻す

※バッテリーが十分に残っている状態で行ってください。

1. 電源をOFFにする。

2. コントロールボタンを赤色LEDが点灯するまで7秒押す。

セットアップモードに入ります。



3. コントロールボタン、アップボタン、ダウンボタンを同時に3秒押す。

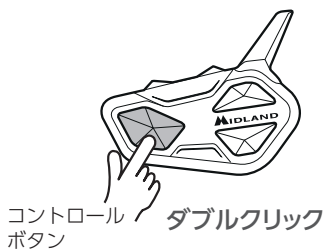
※青色LEDが点灯し、初期化が開始されます。

※初期化が終了すると赤色LEDが点灯します。



4. コントロールボタンをダブルクリックし、セットアップモードを終了する。

※工場出荷時にすると全てのペアリング情報はリセットされます。



注意

工場出荷状態に戻すとペアリングや音声案内もリセットされ、FMラジオモードの音声案内のみとなります。再度ペアリングするとフォーンモードへ切り替わります。

こんなときは？

- 商品初期設定は、全て公開モードで出荷されています。
- 圏内に公開グループモードの同じチャンネル(番号)のRUSH RCFがあると通信エラーが発生します。
- パブリックグループのRUSH RCFと、プライベートグループのRUSH RCFは、グループ内で併用できません。必ず、どちらかのモードに統一の上ご使用ください。

こんな時は？	ここを確かめてください
通話相手にこちらの声が聞こえない	マイクが確実に取り付けられているか確認してください。
	マイクの白色のマークが口側に向いているか確認してください。
	マイクと口の間隔を5mm程度にしてください。
通話相手の声が聞こえない	音量を上げてください。
	キットが本機に正しく接続されているか確認してください。
スマートフォンと連動しない	本機の電源がONになっているか確認してください。
	本機が満充電されているか確認してください。
	スマートフォンが通話可能かどうか確認してください。
	スマートフォンのBluetooth機能がONになっているか確認してください。
	本機とスマートフォンのペアリングが正常に完了しているか確認してください。
過度の風切音	風の影響の少ない位置へマイクを移動させてください。
プライベートグループに切り替わらない	チャンネル番号がメッシュ7～10であることが考えられます。メッシュ1～6、または、メッシュゲストに設定されているか確認してください。
フォーンモードに切り替わらない	本機は、スマートフォンなどのペアリングが無い場合はフォーンモードの音声案内が流れない仕様です。スマートフォンなどのペアリング後に再度ご確認ください。
スマートフォンの音楽がインカム側から聞こえない	スマートフォンが⊖ボタンへ登録されている場合は、音楽の音声は聞こえません。⊖ボタンは電話の発着信の動作となります。一度ペアリング情報をリセット(P.51 参照)し⊕ボタンへのペアリングをお試しください。(P.36 参照)
MMC 通信の際の受信感度が悪い、通信距離が短くなったように感じる	ペアリングされているBluetooth機器を一度OFFにしてお試しください。
MMC 通信の中にBluetooth インカムが入れない	ブリッジ接続がオンであるかご確認をお願いします。(P.34 参照)

スペアパーツの一覧表

名称	型番	商品
RUSHシリーズ アクセサリ フルセット	C1550	
Rシリーズ マウント 取付クランプ 粘着タイプ	C1580	
Rシリーズ マウント 取付クランプ クリップタイプ	L1468	
RUSHシリーズ Type-C USB 充電ケーブル	C1508	
RUSHシリーズ マグネティック マウント	C1552	
RCF 高音質 HDスピーカー (1 個入)	C1509	

名称	型番	商品
BT PRO フルフェイス用 ワイヤーマイク (スペア)	L1343	
BT PRO ジェットヘルメット用 ブームマイク (スペア)	L1344	
ジェットヘルメット用 マイクスポンジ (スペア)	84-01	
ワイヤレスPTTボタン	C1238	

総代理店：株式会社LINKS

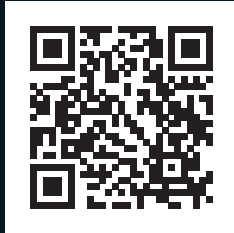
〒604-8025 京都市中京区下大阪町 349-6 イシズミビル 7F

info@linksofjapan.jp

<https://www.midlandradio.jp>

製造元：Midland Radio Corporation

https://www.midlandeuropa.com/en_150/



www.midlandradio.jp